

○ トラック1　～教会で出会ったある美女との会話～

●背景…教会（日中）

主人公、教会にやつて来る

おねショタなので基本、マイクは主人公は見上げている

◇ＳＥ‥重たいドアを開く音

少しの間

◇ＳＥ‥響く足音

主人公、祭壇にお祈りをする

横の部屋からベラ（ヒロイン）が顔を覗かせる

◆左遠い

参拝の方ですか？

ベラ、小走りで近づいてくる

◇ＳＥ‥小走りの足音

主人公、ベラの方を見る

◆正面

■演技‥主人公の顔を見て驚く
えつ‥‥

少しの間

あつ‥‥。

ふふふ。

ごめんなさい。

ちよつと知り合いの子に似てたから。

◇ S E .. 足音数歩

◆正面近い

随分お若い方ですね。

キミ、おいくつ？

……まあ。

そんなお年で冒険者に？

ご両親は？

主人公、両親はないと語る

あらあ……。

こんな世界ですもの、ご両親がいない子も多いですからね。でも、キミはこうして生きてます。

きっと、神の加護がキミの将来を守ってくれるハズですよ。

これからどちらに？

冒険？

……へえ、まだ幼いのにモンスターの討伐……。

少しの間

知り合いの子はモンスターにやられてしまつて……。
なので、同じ年頃のキミがモンスター討伐をしてると聞いて、胸がざわついてます……。

どうかキミは、無事に帰つてこられますように。
私、からも精一杯お祈りさせていただきますね。

少しの間

はい。私から加護を授けました。
冒険者様の旅路を邪魔してはいけませんね。
道中お気をつけて。

それから……。

私になにかできることがありましたたら……、遠慮なくご相談に来てくださいね。

では、私はこれで。

私はシスターのベラ。

キミの人生に、神のご加護があらんことを祈っていますね。

◇S E・足音

足音のフェードアウト

○トラック2..シスター・ベラの聖なる性まじない手淫でオトナの快感をく

●背景..町(夜)

主人公、フィールドから帰ってきて主人公は歩いている

◇S E..足音

◇S E..携えている剣が揺れる音

少しの間

遠くの民家からベラが出てくる

◆正面遠い

あら? こないだの……。

◇S E..小走りの足音

◇S E..携えている剣が揺れる音

主人公がベラのもとに駆け寄る

◆正面

どうしたんですか?

私は町の方々のお悩みを聞いていたところでして。

主人公、事情を説明

サキュバス?

ああ……はい。 そうですね。

森の向こうの洞窟にはサキュバスの巣があると聞いたことがありますね。

まさか……そんな危険な場所に向かつたんですか?

ダメじやないです……!

サキュバスは男性が討伐してはいけない決まりになつてます。

男性は……彼女らの鼻を刺激してしまうのですから……。

主人公、サキュバスを倒したいと語る

た、倒したいって……。

いくらキミが若くても、サキュバスに見境なんてありません。

その——せ、性器があれば……。

彼女たち……誰でもいたいでしまいますし……。

現にこないだ被害に遭われたのは、老人で……。

主人公、サキュバス討伐の策を求める

た、倒す術ですか？

ないことではない……ですが……。

……私は行かせたくありません。

キミみたいな若い子が命を落とす世の中なんて間違っています。

神のご加護のもと……本当なら、健康的な暮らしをしてほしいのですが……。

少しの間

……そうですよね。

お金のため……キミは、一人で生きてきたんですよね。

……私にはなにも言う権限はありません。

■演技・少し必死に

……せめて！

せめて、私に協力させてくれませんか・

そ、その……つ、シスターの力があれば……、

それと、女性の香りを漂わせれば……彼女達はそれを嫌うはずなので……。

主人公、具体的に尋ねる

内容はあ……。

■演技・咳払い
ん。

ここでは誰かに聞かれたら困るので……。
教会の客室にいきましょうか？

◇S E .. 足音（べラ）

遅れて主人公が歩き出す

◇S E .. 足音

◇S E .. 携えている剣が揺れる音

足音フエードアウト

場面移動

●背景..教会・屋根裏部屋（夜）

主人公、屋根裏部屋に入る

◇S E .. ドアを開ける音

◇S E .. 足音数歩

◆後方

教会の屋根裏部屋です。

べら、遅れて部屋に入る

◇S E .. ドアを閉める音

◇S E .. 足音数歩

◆左

普段は遠方から修行中のシスターの宿泊用に使っているのですが、
いまは空いてまして。

ここなら、キミが泊まつても問題ないですよね。

主人公、サキュバスの対策について聞く

◆正面

ふふ。 そう急かさないでください。

私だってあのような町中では言えませんよ。

なぜなら……スターの加護を睾丸に蓄えて、

男性ホルモンが外に出るのを防ぐのが狙いなんです。

主人公、静止する。

……も、もちろんおかしなこと言つてると思いますよ？

私も知識がなかつたらそう聞こえています。

でも、睾丸に溜まっている精子の匂いにサキュバスは反応するんです。

その精子を一旦放出して、ホルモンが外に出るのを防ぎます。
そうすれば匂いで気づかれる事はありませんし……、

性行為の耐性もついて一石二鳥です。

主人公「せ、性行為？」

はい……性行為です。

あの……私も恥ずかしいですし……純潔を守るスターとしてダメなことと承知の上です。

悲しんでくれる人は誰もいないなんて思わないでください。

私は悲しいんです……。

いい、ですよね……？

では……ズボンを脱いで、
ベッドに座つてくださいね。

主人公、躊躇う

脱げません、か……？

私も恥ずかしいので、そこまでの補助は、ちょっと……。

主人公、脱ぐ决心をする

ありがとうございます……。

◇SE：脱ぐ音

……。

■演技：生睡をのむ
んう…………。

主人公、パンツ姿に

下着も、です。

◇SE：パンツを脱ぐ音

……。

。ペニスが飛び出す

わっ……。
すごい……。

キミのおちんちん……元気におつきくなつてますね……。

べラ、ペニスに見惚れる

■演技：我に返る

……あ、ごめんなさいボーッとしてて。

ベッド、どうぞ。

◇SE：足音数歩

◇SE：ベッドに座る

主人公、ベッドに座る

◇S E .. 足音数歩

ベッドに座る主人公に顔を近づける

◆正面近い

ごめんなさい。

キス開始

◆正面極近

ちゅ、ちゅんん、ちゅ……ちゅ。ふううう、ちゅ。

はあ……はあ……んんん、ぶちゅ、ちゅく、ちゅううううツ、ちゅ。

おちんちん、握りますね。

ペニスに触れる

はあ……。

弟と同じくらいなのに……おちんちんは、こんなに男性的に……。
んむ、ちゅ、ちゅうう、ちゅ……。
正直、こういう経験はありません。

ですが、神の名のもとに……キミに、加護を授けます。
どうか……射精、お願いしますね。

◇S E .. 手コキ・低速

ちゅうう、んん、ちゅく、ちゅうう、ちゅ。
んん、ちゅ……ちゅうう、ちゅ……。

はあ……はあ……んぶんん、ちゅく、ちゅツ。
んぶん、ちゅつ、ちちゅう、うふうう、んん、チユツ。

キミも……こういうのは初めて？

んぶ、ちゅ、ちゅくう、ちゅ……んん、ちゅつ。

んんむう、ん、ちゅ……。

◆正面極近 ↓ 左極近

それと……、

◆左極近

こういうのも、刺激になるんでしようか……?

耳舐め開始

れろれろ……れろつ。

んぶ、ちゅ……ちゅ……ちゅぶ、ちゅ。

お耳を舐めるの……いえ、舐めること自体は、したことないのですが……、
ちゅ、ちゅう、
こう——、

■演技・息を吹く

ふう——……。

よく、知り合いの子をからかってました……。

ふふふ♥

んんん、ちゅう、ちゅ、神に仕える私がお耳を舐めるのは
罪悪感はありますが……ちゅうう、ちゅ、これも、キミの命を守るため。

ちゅうう、ちゅ……んぶ……ちゅ、ちゅくう、ちゅ……。
んんん、ぶちゅ、ちゅ……んんん、ちゅ。

ちゅ……ちゅう、気持ちいいですか……?

んんん、ちゅちゅうう……ですが、このままだと……ちゅうう、ちゅ、
いつまでも……射精、できなさそうな予感がします……。

ちゅうう……ちゅ、ちゅツ、ねえ、キミは射精したことありますか？
んんん、ちゅ……あ、そ、そういう辱めを与えたいた質問ではなくて……、
単純に、お聞きしようと思つただけで……。

主人公、自慰をする返答

まあ……。

するのですね……？

ちゅ。ちゅう。んん。ちゅツ。

ちゅむう、ちゅ、その時の早さつて……どう……ですか……？

ちゅ……んんん、ちゅ、ちゅううう、ちゅ、ツ。

わかりました……。

◇S E : 手コキ・中速

こ、これくらいでどう、でしよう……？
平気ですか？

でしたら……。

◆左極近 → 右極近

◆右極近

ペースをあげて……気持ちよくしてみます。

ちゅむう、ちゅ、んん、ちゅ……ちゅ、ちゅう。
シスターたつて……女性なんです。

ちゅるる、ちゅ、一生の中のほんのひとときだけでも……、
女性としての技術、見せつけます。

ちゅむ、ちゅううう……んん、ちゅく、ちゅ、ちゅ。
れろつれろれろれろ。

んんんん、ちゅちゅ……んん、ちゅ……。

ちゅく、ちゅ……んんん、ちゅツ、ちゅつ。

はあ、はあ……んんん、ちゅ。

気持ちいいですか？

ちゅつ、ちゅう……ふふ、なにやら透明なおつゆが出ていますが……、
きっと、気持ちいいのは本心なのですね。

ちゅう、ちゅ……んんん、ちゅく、ちゅうう。

はあ……はあ……んんむう、ちゅ、ちゅうう……ちゅる、ちゅツ。

その本心を……ちゅむう、ちゅ、もつと、吐き出してください。

精子を出せば出すほど……ちゅう、ちゅ、加護を与えやすくなります。

ん。ふんん、ちゅ、ちゅうう、ちゅむ、ちゅうう。んん、ちゅ。ちゅ。
はあ……はあ……れろれろ、んんん、ちゅ、ちゅく……。

ちゅくう……ちゅうう、ちゅうう。んん、ちゅ。ちゅ。

射精させて、いいですか……？

私のお手々の中で……どうか幸福を……！

◇S E・手コキ・高速

ちゅむ、ちゅううつ、ちゅツ、んん、ちゅく、ちゅ、ちゅううつ。
はあ……はあ……。
んんん、ん、ちゅ、ちゅう。

どうぞ、射精ください……。

睾丸に溜めた想いを……全部、吐き出してください。

んふう、ちゅ、ちゅくちゅう。
はあ……はあ……。

んふう、ちゅ、ちゅくちゅう。

ちゅうう、ちゅんん、ちゅッ。

れろれろれろれろ……つ。
どうか……精液を……ッ。

◇ S E .. 射精

ひやッ！

手コキ停止

■ 演技 .. ニスを見る

あつ、ああ……。
すごいですね……。

精液とは……こんなにも、大量に溢れ出るものだとは……。

はあ……はあ……。

匂いも……こんなに濃いんですね……。

主人公、彼氏の有無を尋ねる

彼氏？ いえ、そのような方はいませんよ。
シスターは純潔……処女を守ると同時に、
こうした行為すら、ほんとうはNGですから。

……それで、どうでしょう。

全部、出し尽くしましたか？

……ふふ、ありがとうございます。

これで睾丸に加護は宿り……男性ホルモンを抑制できました。
うかつに近づかなければ遠く離れていてもサキュバスに気づかれませんし……、
おちんちん……気持ちよかったですよね？

……はい。

その快感に慣れておけば、万が一サキュバスに襲われても快楽に屈するリスクは多少減つ
たはずです。

◆正面極近

これにて、おしまいです。
夜遅いですし、よかつたらここに泊まってください。

では、おやすみなさい。

ちゅッ。

ふふふ、今日のことは……
神様にもナイショですよ？

○トラック3..性欲暴走！サキュバスエキス発散の口腔治療

●背景..教会（夜）

主人公、再び教会を訪ねる

◇S E ..重たいドアを開く音

◇S E ..足音数歩

◇S E ..重たいドアを閉じる音

主人公、教会の奥へ向かう

◇S E ..響く足音

少しの間

キヨロキヨロとベラを探す
ベラ、小部屋から出てくる

◇S E ..ドアを開く音

◆正面遠い

あら？ こんな夜にどうしたんですか？

◇S E ..小走り

◆正面

サキュバスの件はどうしました？

ん？

ベラ、下半身の勃起に気づく

■演技..下半身を見る

ま、まあ……！

その下半身の膨らみはどうされましたか……。

主人公、サキュバスにキスをされたと語る

さ、サキュバスのキス……！

それって呪いじやないですか……！

いけない……！

よくみたら頬の上気も……。

あの、すぐに上の屋根裏部屋へ向かってください！
私も準備しますので、すぐに！

べラ、主人公の手を握って励ます

絶対、助けてますからね……！

とにかく、息苦しいでしようから、
全部脱いで待っていてくださいね。

主人公、屋根裏部屋へ向かう

◇S E .. 足音

足音のフェードアウト

●背景..屋根裏部屋(夜)

主人公、全裸でベッドに座っている

◇S E .. ドアのノック音

べラ、ドアの向こうでしゃべる

◆正面遠い

入りますね？

◇S E .. ドアを開く音

◆正面遠い

■演技..緊張気味

失礼します……。

◇ＳＥ‥ドアを閉める音

◆正面遠い ↓ 正面

この格好、いかがですか……？

◆正面

修道服以外は脱ぎました。
下着も……。

少し胸の先端が浮いてしまつてますが……、
お気になさらず。

……ああ、下着ですか？

私も女性ですから……キミとの時間を重ねて、
その……濡れてしまつたら、困りますし……。

……と、とにかく。

始めますよ？

◇ＳＥ‥しゃがむ音

◆正面下近い（フェラ位置）

おちんちん……ずっと隆起し続けて可哀想。
私でどうにかできると信じて……お口で、奉仕させていただきますね。

ベラ、フェラを開始

んもう……ん……。

サキュバスの呪いは……女性には聞きません。

なので、その毒素は……女性じやないと、取り除けないんです。

ちゅうむう……んんん、ちゅ……ちゅむむ。
ずず……んん、ちゅ……ちゅ、ちゅうう。

下手でバ)めんなさい。

おちんちんを見た経験も、前戯の経験も初めてで……。
ちゅむむ、んんん、ちゅ……んん。ぶんん、ちゅ……。

ちゅつ……ちゅ……んん、ちゅ。

主人公、手で大丈夫と言う

手、ですか？

たしかに、手で射精しても大丈夫です。
しかし……ちゅむう、ちゅ、ちゅうう、ちゅ、んむう、ちゅ、これは、
本で得た知識でして……。

んん。ぶうう、ちゅ……ちゅる……んん、ちゅ。
はあ……はあ……ん。ぶん、ちゅ……ちゅく。

唾液の上塗りで……サキュバスのかけた呪いをおちんちんから全身に回す……。
睾丸の中を浄化するんです。

ちゅく、んん、ちゅむ、ちゅ……ちゅ。
はあ……ん。ぶんん、ちゅう、ちゅッ。

ちゅる、ちゅ、んん、ちゅ。

どうか……ちゅむ、ちゅうう……奉仕を、受け取つてください。

ん。ぶんん、ちゅ、ちゅ……んん。
ちゅく、ちゅる、ちゅ……んん、ちゅ。

ちゅ、ちゅう、ちゅ……んん、ちゅう、ちゅ。

んん、ちゅ、ちゅむう、ちゅ……それにしても、ですが……、
サキュバスの力は、強大なようですね……。

こないだよりも数倍……おちんちんが熱い気がします。
んむう、ちゅ、ちゅむ、ちゅ……ちゅく……ちゅ。
お口に含んでるせい、でしようか。

ちゅうう、ちゅ、ちゅうう、ん。ぶツ、ちゅ、ちゅううつ。

ちゅツ……んんん、ちゅツ……ちゅつ。

はあっ、はあ……んむ、ちゅ、ちゅうう。

ちなみに、サキュバスにはナニをされましたか……？

んん、ちゅ、ちゅく、キスだけですか？

ちゅるツ……ちゅ、ちゅう、ちゅつ……んん、ちゅ。

このおちんちん……サキュバスに舐められる等はしなかつたのですか？

ちゅうう、ちゅう、んん、ちゅ、ちゅくううう、ちゅ。

んん、ちゅ、ずずず……んん、ちゅツ、ちゅ。

んぶんん、ちゅつ、ちゅ……ちゅむうう、ちゅ。

ズズツ……んんん、ちゅ、ちゅる、ちゅつ。

舐められているのでしたら……私が、浄化します。

んむう、ちゅつ、ちゅう、こんなに可愛い子が、

女性の味を覚えるなんて、憤つてしまいそうですが……。

ちゅう、ちゅ、んんん、ちゅ、ちゅむう、私は私の役割を……、
ちゅむう、ちゅ、ちゅくう、ちゅ、このおちんちんに……授けますね。

ちゅるる……ちゅううう、ちゅんん、ちゅ。

ですが、ただ舐めてるだけでは……ちゅううう、ちゅ、

射精させられる気がしません……。

いくら加護を授けようとも……ちゅうう、ちゅ、私の技術では、
及ばないと言いますか……。

ちゅうう、ちゅツ、んんん、ちゅ、ちゅくううう、ちゅ。

ふう、んんん、ちゅ。

ちゅ……ちゅむ、ちゅううう、ちゅ。

ちゅうううつ……あぶ、ん、ちゅう、ちゅううツ。

よかつたら……私の胸、触りませんか？

大きくはありませんが……せめて、興奮の底上げにできれば……。

主人公、片乳を揉む

んうう……。

どうですか……？

ちゅむう、ちゅ、初めて、触ったんですか？

ちゅうう、ちゅ……ちゅうう、ちゅむん、ちゅ……。

ちゅツ……、ぶちゅ、ちゅうう、ん、んう……。

んう、やつ……。

ちゅ、ん、触る時は……ま、周りの柔らかいところを……。

んん、ちゅ、ちゅう、先端は、うう、ん、ちゅ、ちゅむう、ちゅ、か、感じてしまします、ので……。

んん、ぶちゅうう、ちゅく、ちゅツ、ちゅ。
んん、ちゅる、ちゅうう、ちゅうツ……。

はあ……はあ……。

ちゅ、ちゅうう、ちゅくちゅるる、ちゅツ。

んん、ちゅ、ちゅくう、ちゅツ、ずずツ、んんむう、ちゅ。

あつ、うう、んんん、ちゅ。

そうです……。

優しい触り方ですと……嬉しいです。

んむ、ちゅう、ちゅく、ちゅ、ちゅううう……ちゅ。

ちゅう、うんん、ちゅツ、ちゅむうう、ちゅくちゅ、ちゅツ。

れろれろれろお……ぶちゅうう、ちゅつ、ずずつ。
おつゆなのか、私の唾液なのかわかりません。

ちやんと、感じていただけているのでしょうか……。

んむう、ちゅ、ちゅう、本には、男性が悦ぶとありましたが……。
ちゅうう、ちゅ、下手な女性が舐めても、あまり効果が……。

ちゅつ……ふちゅう、ちゅ、ちゅう。

ちゅんんちゅうにかイカせないと

はあはあ……あのこれからはしたないこと覚悟で。

でもどうか……私を娼婦だと思わないでくださいね……。
いきますよ？

づづづうううううう。

はああ？、はああ？。

んむううツ
せゆ
せゆふふつ
せゆ
せゆるるツ

んん、ぢゅく、ぢゅ、ぢゅうううつ。

せぬふう！ せぬくッ！ せぬ
せぬふうふう！

ヂユツ、ヂユツ！

■演技・呪術だまま

はい……出してください

ぢゅぶぶうぶうぶツ！

口内射精でフイニツシユ

◇S E ..射精

んふうう！

ん
つ
ん
ん
ん
つ
！

っぴゅ……んん……ん……ツ！

■演技..鼻呼吸

ふう……ふう……ふう……！

■演技..咥えたまま

全部お願いします……。

んむう……ずず、ぢゅ、ぢゅううう。

ふう、ふう……。

ぢゅ。ふ……んんん……つ。

■演技..鼻呼吸

ふう~~~~~。

■演技..咥えたまま

飲みますね？

■演技..「くくん

ゞく……ゞく……ゞく……。

ペニスから口を離す

はああああ……ツ。

はあ……はあ……。

んんうう……。

どう、でしたか……？

サキュバスの呪いに効いてますか？

勃起は……んんう、まだ、収まつてないようですが……これは、普通に興奮しているのか、サキュバスの呪いなのか……どちらの興奮、でしようか……？

んう……まだ、熱いですか？

どうやら……呪いは解けていないようですね……。

それでしたら……あの、

これからおこなうことは、絶対に誰にも吹聴しないでくださいね？

口に出してはいけません。

誰かにも、独り言としても。

いいですね？

私は……神に背きます。

これはとても罪深く、永遠に残ってしまう傷ですが……、

私は……キミを放つておけません。

覚悟を持つて……キミと愛し合います。

なので……セックス、しませんか？

○ トラック4..聖なる治療は性なるピストンで

●背景..屋根裏部屋(日中)

トラック3の続き

◆正面下近い(フェラ位置)

それでは……ベッドで仰向けに寝てください。

主人公、ベッドに寝る

◇S E..ベッドに寝る

ベラ、立ち上がる

◆右

跨がりますので……、

ベラ、ベッドに乗る

◇S E..ベッドに乗る

ベラ、主人公の上に跨がる

◇S E..肌が擦れる音

◆正面

重かつたら……言つてくださいね。

ベラ、修道服をまくつて膣が見える状態に

◇S E..スカートを捲る

んんう……。

おちんちん……、んなにビンビンに……。
ふう……んんん、んく……ん……。

キミは経験がないと仰つてましたかが……、

シスターである私も……当然、経験がありません。

経験はありませんが……精一杯、感じさせます。

膣内で、んんう……サキュバスの穢れを絶対に浄化してみせます……。

なので……、

亀頭を擦りつける

◇S E・水音

んんんん……、
ううう、ん……。

◇S E・水音

んんく……んん……。

はい……そのまま入れますよ……？

キミは特別ですから……私が、真心込めて、処女を捧げます……。

◇S E・水音

その純潔な感触を……、

直接塗り込んで……はあ……あ、ああ……サキュバスの呪いを、
忘れさせます……つ。

主人公、ジロジロと膣を見る

んう……そんなに、見ないでください。

はあ……はあ……んん、ツ……ん……

毛が生えなくて、恥ずかしくて……。

んう……はあ……はあ。

入れますね……？

■演技・深呼吸

すーっ……はあ……。
すーっ……はあ……。

いきます……つ。

◇S E・挿入（単音）

あんう……つ。

アツ……こんな、広がるんですね……。
んん、くつ……うう……。

◇S E・挿入（一気に）

あああああ……ツ。

ううつ……くんぬう、う……ううう……ツ。

ペニス、根元まで挿入
べラ、挿入とともに軽い絶頂

ンンンンツ！

はあ……はあ……つ。

失礼いたしました……。

いい、いま……絶頂に、満たされてしまい……。
はあ……はあ……はああ……。

少し、お待ちください……。

思いのほか……おちんちんは、キツく、抜げられるんですね……。
んんん、ん……うツ……キミは、平氣ですか……？
本来なら、キミが射精した時点で終了でいいですが……、
どうせなら……たくさん、感じてほしいです。

なので……ん、射精は、もう少し我慢いただけたらなつて……。
んんんう……平氣ですか？

ふふ♥

◆正面極近

■演技：ここから指定箇所まで囁き

いまだけは……敬語禁止♥
気持ちよく、させてもらうね……♥
いくよ？

◇ＳＥ：ピストン・低速

んんうう……んう……動き、始めたよ……？
んつ……んん、はあ……んく、んう……。
これが……おちんちん……。

幼い子と思つてたけど……、

おちんちんの熱とハリは……とても立派で……気持ちいいね……♥

んんう……はあ？、はあ……んんん、んく。
キス、しよ？

キス開始

ちゅぷう、んううう、はあ？、はあ？。
んむ、ちゅ……ちゅッ、んん、ちゅ……。

はあ……んん、ちゅく、ちゅうう、ちゅ……。
ちゅうう、ちゅむ、ちゅ……あむんん、ちゅ。

愛情を込めてるんだよ……♥

キミを、ただの年下の子だなんて思つてない……♥

愛を込めて……強く、強く……、

心に残るようなセックス……したくて……♥

主人公 「した」とないんですね？」

ん？ ないよ……♥ 誰とも。

んん、ツ、ん、恋したことなんて……幼少の頃の、父くらいだし……。

はああっ、んん、シスターになつた時点で、
んん、セックスをする未来なんて、想像できなかつた……。

キミはどう？

ん、ちゅ、私みたいな年上としちやつて……後悔しないかな？

主人公「そんなことないよ！ ベラさん綺麗だし」

まあ……♥ ありがとう♥
んん、一人で生きてきたのに、そんなおべつかまで使えちやうの？

はあつ、はあつ、ふふふ♥
本音でも嘘でも、キミの言葉なら嬉しいよ♥

ちゅッ。

ありがとね♥

◆正面極近 ↓ 右極近

はあ……はあ……。

◆右極近

いま、ちよつと恥ずかしくなつちゃいました……♥
んんんつ、火照りが収まるまで……くつづくね。

ふうう……んん、んく、んんう……んん。
はあ……はあ……んん、んくッ……んううう。

でも、すごいね♥

経験ないはずなのに……んん、私より長持ちだ……♥

んう、私、入ただけで絶頂しちやつた……。

んふううう……んくんん、んツ……はあ……はあつ。

んぐ、んう……あん、んくツ……。

オトナとして……キミより長く保てるように、
頑張らないと……つ。

はあつ……はあつ。

う、んく……んんうつ。

ンツ……せめて……つ、ペースだけでもあげて……、
キミを、絶頂に近づけるね……つ。

じやないと、私ばかり絶頂しそうです……。

ふふふ♥

それくらい、気持ちいいの……♥

重かつたら教えてね?
いくよ?

◇SE：ピストン・中速

んんんんう、これくらい……激しいんですが……。
はあ……はあ……んううう、うう、んくんん、んう。
どう?

私は……ツ、気持ちいいのに、

気持ちよくて、くらくらするのに……つ、
腰だけが、勝手に動いちゃう感じ……つ♥

自分の意志なんて、隠し続けてきたの。

シスターたから、その体は神のためにあるのつて、
母から、そう教えられて……つ。

んんつ、はあつ、はあつ、でも、

いまキミとこうして感じると……ツ、女性としての悦び、
女性としての幸せとか、つい考えちゃう……つ♥

はあっ、はあっ……こんな気持ちいいことを、ずっと知らずにいたんだ
偶然の産物だけど……つ、

こうして、キッカケをいただけたのは……きっと、運命だよね……

はあっ、はあっ、あああ、ううツ、ん、はい、運命……
こうしてつ、おちんちんと、おまんこを擦り合わせるのは、
運命です……つ、愛のこもった、運命……

はあっ……はあっ。

軽い耳舐め

■演技..ピストン中なので少し余裕なく
ちゅむうつ、ちゅツ、んん、ちゅ、ちゅツ。
んんむう、ちゅツ、ちゅう。

はあっ、ああっ……んん、ちゅ、ちゅうううツ。
ああ……

キミのおちんちん、さらに元気に……

んうう……あつ、んんくう……んくん、んつ……
はあつ、はあつ……んんつ、んつ。
あまり舐めるのは……できないね。
噛んじやいそうで怖いから……ふふ

◆右極近 ↓ 左極近

なんてね……

こつちも舐めたいだけ……

◆左極近

軽い耳舐め

んむう、ちゅ、ちゅううツ、はあっ、はふうう。
ん、ツ……ちゅツ、ちゅツ、ちゅうう、んつ、うんん。

あんっ、んんうう、ちゅ、ちゅくう。
キミがイキそうになつてくれて嬉しい。

ちゅうう、ちゅむ、ちゅうう。

ん……はあ……はあ……つ。

精一杯……イカせてみせるね。

んん、ちゅ、ちゅう、そろそろ……射精のお時間、かも。
んんツ、んん、うツ……はあつ、はあ……ツ。

最後に……もつと激しく動くね？

キミと私の初めてのエッチ……これで、集結にするよ♥

◇SE：ピストン・高速

んんんんん。

はあっ、ううっ、普段は、こんなはしたなくないよ？
ただつ……んんんつ、感じたことのない経験がつ、
私の理性、保たさせてくれなくて……！

んんんツ、はあふうう、ん、んくツ。んん、あん、んくつツ！
精液……つ、最後は中に出して……つ！

お姉さん相手で、いいかな？

ほんとうは中に出す必要はないの……ツ！

でもっ、私が欲しいの♥

シスターじゃなく、ベラという一人の女性として……ツ。

あああああツ、んんくツ、ん、んううううツ。
ううつ、あつ、ああつ、はあつ、はあツ。

射精してツ♥

私もっ、一緒にイクねつ♥

はあっ、ああツ、イク……ツ♥

中に出して、んんんんっ、イクうううううううううっ♥

◇S E ..射精

ピストン停止

ンンンン……っ！

アツ——はああつ、はああ……つ！

うううつ、んくんつ、ん、あつ……子宮に……届いてますね……。

温かくて、幸せな感触……んぐうっ、んう……♥

はあつ……はああ……ツ、これが、キミの愛なのかな……。

ああああ……うくう、んん、んく……。

ふう、んん、んつ……あつ……あ……ふふふ♥

べつとり……♥

んう……んうう……。

◆左極近 → 正面極近

どうかな……？

◆正面極近

全部……出してくれた……？

シスターの子宮が……男性の子種で満たされるのは、
きつと……キミの精子だけだね……♥

主人公「そうなの？」

うん……♥ シスターは結婚しないし……私は生涯シスターの予定だから。
だから、私が非処女になつたのは……ふたりだけのヒミツ……♥

キミが通うギルドにも、知り合いにも……、
神様にも……ナイショにしててね……？

そうすれば……私はみんなの中では、純潔を守るシスターのままで居られるから。

主人公「申し訳ないよ……」

ふふふ♥ 私が迫ったんだから……キミが悔やむ必要はないよ。
全部、私が望んで捨てたこと。

ふう……ん……。

んんう……それよりも……精子は、全部出たかな?
うん……♥

元気いっぱい……気持ちいいエッチだつたよ……♥
頬の上気は消えたね。

おちんちんは硬いままだけど……、

これ……キミの性欲が強すぎるんじやない?
エッチな子♥

ちゅ、ツ、んん、ちゅ……ちゅ。
じやあ……今日は泊まっていつてね。

お互いの体温を分かち合いながら……寝ちゃおうね
♥

○ トラック5..おやすみなさい、可愛い冒険者さん

●背景..屋根裏部屋(夜)

トラック4の後

ふたりは全裸でベッドに
 主人公だけ寝ている

主人公は仰向け、ベラは主人公の方を向いて寝ています

■演技..常時囁きでお願いします

◆左近い

■演技..寝息
 すう.....すう.....
 すう.....すう.....。

んうう.....
 ふふふ.....

可愛い.....
 寝ちゃったみたい.....。

◇S E..頭を撫でる音

こんな可愛い子とセックスをする日が来るなんて思わなかつた.....
 あの子にそつくりな.....可愛いボクちゃん。

はああ.....
 んんう.....。

嘘、ついてごめんね。

寝てるキミに言つても伝わらないけど.....キミが怒っちゃう気がしたから、
 知り合いの子つて嘘ついてた.....。

亡くなつたのは.....私の弟。

魔物がもたらした病氣で.....私の弟は亡くなつたの。

あの時、私は無力で大切なあの子を助けられなかつた。

もしかしたら……シスターとしての責務を捨てれば、助けられた……。

だから、キミと出会つた時ね……？

この子だけは絶対に助けなくちやつて思つたの……。

◆左極近

弟の代わりだなんて思つてないよ。

キミを……キミとしてちゃんと見てるよ。

◇S E .. 寝返り

◆正面極

あら?

ふふふ……

ギュツとしてあげる……おいで……

◇S E .. ハグ

んう……

キミは……私が守つてみせる。

キミがまたサキユバスに呪われたら、

その分……私がセツクスをします……

子供を産まなきやいけないことになつたら……
私が産みます……

この可愛い寝顔の平和は……私の加護で……、
幸せに満たしてみせます……

少しの間

いまは……おやすみなさい……

額にキスをする

ちゅツ
・・・
◆

••••
♥

キミの人生に
神のご加護があらんことを

■ 演技 .. 寢息

すう すう すう
すう すう すう
すう すう すう
すう すう すう
すう すう すう

すう すう すう すう

すう